



(写真左) 80歳以上の参加者が稲田さんひとりだった2013年のコナは、気管支炎にパンクとトラブル含みのレースとなり、制限時間の5分後にフィニッシュ (同右上) 2012年、2回目のコナ参戦で80歳以上のアスリートとしてのコース記録をマーク (同右下) 同じく2012年大会、オーバー80カテゴリー優勝のトロフィーとチャンピオンジャージ。アイアンマンの歴史に名を刻む、レジェンドのひとりとなった

闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on (マグ・オン)

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-onは、海水からとれた国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

30包入り ¥6,900 (税別)

8包入り ¥2,000 (税別)

マグネシウム200mg

1包3.7g

レモンフレーバー／顆粒タイプ

カルシウム、各種ビタミン類も配合



顆粒スティック裏面には闘い続けるアスリートに捧ぐ24種類メッセージを



8 Packet



自分への挑戦と
世界への挑戦と。

Mag-on Your Challenge
#001



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

稲田 弘さん

アイアンマン世界選手権 (80歳以上)
コース記録保持者



Hiromu Inada

アイアンマン・ハワイで最高齢カテゴリー (80歳以上) のコースレコード (2012年) をもつ「現役世界王者」。69歳からトライアスロンをはじめ、初出場の2011年から4年連続IMハワイ参戦。今回のコナではハードなコースコンディションの中、ペース配分がうまくいかず完走はならなかったが (バイクパートでリタイア)、山本淳一コーチとの二人三脚で、自身のもつ世界記録更新に挑み続ける。1932年11月19日生まれ。

脚がつかないだけじゃなく
身体がめぐりが良くなった

年間の平均的なトレーニング時間は週15時間ほど。多いときは週20時間もの練習をこなし、完全休養のオフはコナの直後1週間くらいしかとらないという稲田さん。食事自体の量も多く、温野菜や青魚を多く摂り、プロテインやアミノ酸サプリメントも取り入れるなど、内容にも常に気を遣っているが、それでも脚のケイレンが悩み。マグ・オンとの出会いに一条の光明を見出した。「普段から脚がわりやすくて、アイアンマンのスイムでは必ず2〜3回はつるんですが、今回は1回もつらなかつた。」

「コナの1カ月前くらいから毎朝1包摂っていたマグ・オンのおかげか、今までになくいい体調が良かったので、序盤についてペースを上げてしまった。バイクコースの入り、コナの市街地では他の選手をビュンビュン抜かしたりして、後で「コーチに」怒られました」

オーバードーズと熱中症で、バイク途中で無念のリタイア。世界記録更新は、2015年への宿願となった。

「コナの1カ月前くらいから毎朝1包摂っていたマグ・オンのおかげか、今までになくいい体調が良かったので、序盤についてペースを上げてしまった。バイクコースの入り、コナの市街地では他の選手をビュンビュン抜かしたりして、後で「コーチに」怒られました」

オーバードーズと熱中症で、バイク途中で無念のリタイア。世界記録更新は、2015年への宿願となった。